

家庭学習のすすめ ～休泊小学校～

夢をかなえる力をつけよう

継続は力なり

家庭学習の継続によって、「基礎学力」を確かなものにする
ことができ、「自ら学ぶ習慣」をつけることができます。

ご家庭で心がけましょう

- ・早寝、早起き、朝ごはん
規則正しい生活習慣を心がけましょう！
 - ・次の日の準備をしっかりと（学習道具の用意）
 - ・あいさつを交わしましょう！
 - ・読書の習慣をつけましょう！
- *ときにはノーテレビ・ノーゲーム、ディ・タイムを
設けましょう

1. 学習時間（宿題＋自主学習）

「10分＋10分×学年」を目安に取り組みましょう。

- ☆1年生…「20分以上」
- ☆2年生…「30分以上」
- ☆3年生…「40分以上」
- ☆4年生…「50分以上」
- ☆5年生…「60分以上」
- ☆6年生…「70分以上」

上記の時間はあくまで目安ですので、お子さんにあった時間を話し合ってください。

2. 学習内容（宿題＋自主学習）

まずは、宿題にしっかり取り組みましょう。

次に、下記のような自主学習に取り組みましょう。

★基本的な学習

- 音読（内容がわかって、すらすら読めるように）
- 計算練習（今まで習った計算が速く正確にできるように）
- 漢字練習（今まで習った漢字が正しく書けるように）

★がんばる学習

- いろいろな教科の予習・復習
- 自分の得意をさらに伸ばす学習、発展的な学習
- いろいろなジャンルの読書

★きほんてきな学習

こくご


- 音読
（回数を多くするのではなく、上手に読むことを目指しましょう）
- ひらがな、カタカナ、漢字練習
（お手本をみて、ていねいに正しくれんしゅうしましょう）
- ことばあつめ
（なかまのことば、しりとり）
- 視写（教科書の文章など）
- テスト、プリントのまちがいなおし

さんすう


- 計算練習
（教科書やドリル、計算カードを使って練習しましょう）
- 文章問題
（問題をうつし、だいじなところにするしをつけましょう）
- テスト、プリントのまちがいなおし

★がんばる学習

- 国語：読書（教科書以外にもたくさん本を読みましょう）
：暗唱
：文づくり、日記
- 算数：問題作り
：授業でやったノートをもう1回うつす
（数字を少し変えて問題に取り組んでみましょう）



視写って
何ですか？



視写というのは、お
手本の文章を「、」
「。」も含めて、そのま
ま写すことです。

★お家の人へ

- 子どものやる気につながる、あたたかい言葉かけをよろしく
お願いします。
- 間違っていたり、字が乱雑であったりしたときは「もう一度
やってみよう」と声をかけ、上手に書けたらほめてあげてください。
- お家の人丸つけをしてあげてください。（ひらがなや漢字は、
とめ・はね・はらいに気をつけて見てあげてください）
- テレビは消して、勉強している間は静かな環境を作ってあげて
ください。
- 毎日決まった時間に学習に取り組む習慣をつけましょう。

家庭学習の手引き（中学年用）

★基本的な学習

国語


- 音読
（「、」や「。」に気をつけて、大きな声で相手に聞かせるように）
- 漢字練習
（筆順、字形に気をつけて正しく練習しましょう）
- 意味調べ、熟語集め
（国語辞典や漢字辞典を使いましょう）
- 視写（教科書の文章など）
- 文づくり、日記
- テスト、プリントの間違い直し

算数

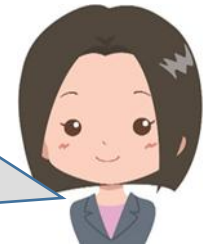
- 計算練習、文章問題
（教科書やスキルの問題を繰り返しノートに練習）
- 100マス計算
作図の練習
（コンパス、分度器など）
- テスト、プリントの間違い直し
- 授業の復習
（その日の学習をノートにまとめ直す）

★がんばる学習

- 国語：詩や俳句作りや習った漢字を使った文作り
：読書（教科書にのっている作者の他の文章や同じテーマの本を読む）
- 社会：3年 地図記号や方位を正しく覚える
4年 都道府県や県庁所在地を書く
- 算数：学習した内容の文章問題作り
：三角定規や分度器、コンパスを使った作図
- 理科：動植物の観察や太陽や影、星の動きを家庭でも観察する
：実験結果のまとめをノートに分かりやすく整理する
- その他の学習：インターネットや図書資料を活用した、テーマを決めての調べ学習



作図って何ですか？



道具を使って、図形をかくことです。円や正三角形、二等辺三角形、直角三角形などをかいてみるとよいです。

★お家の人へ

- 家庭学習をするやる気をほめて、終わったら努力をほめてあげてください。
- 問題をやったら、自分で丸をつけて答え合わせを行うようにお願いします。
- テレビは消して、勉強している間は静かな環境を作ってあげてください。
- 毎日決まった時間に学習に取り組む習慣をつけましょう。

家庭学習の手引き（高学年用）

★基本的な学習

国語

- 音読
（内容にそくした読み方をしましょう）
- 漢字練習
（筆順、字形に気をつけて正しく練習しましょう）
- ことわざ、慣用句、四字熟語集め
（意味、使い方も調べましょう）
- 文づくり、日記
- 視写（教科書の文章、名文）
- テスト、プリントの間違い直し

算数

- 計算練習、文章問題
（教科書やドリルの問題を繰り返し練習）
- 授業の復習
（その日のノートを書き、授業日記を書く）
- テスト、プリントの間違い直し
- 作図の練習

★がんばる学習

- テストに向けた勉強をする
- 国、社、算、理のテストやプリントの間違い直しや復習
- 国語：読書（教科書にのっている作者の他の文章や同じテーマの本を読むなど）
- 社会：5年 日本地図をかき、都道府県名県庁所在地をかき、地形の様子、都道府県の特徴などを調べる
6年 教科書やノートをもとに、時代の流れや様子、人物についてまとめる
- 理科：実験の結果をみて、そこから分かったことを自分でまとめる
教科書のまとめと照らし合わせ、確かめる



内容にそくした読み方とは何ですか？

楽しいところは明るい声、悲しいところは沈んだ声など、言葉のまとまりを意識することなどです。



★お家の人へ

- 家庭学習をするやる気をほめて、終わったらその努力をほめて、少しでもできるようになったらそれを一緒に喜んで下さい。
- アドバイスは少なめにして、忘れたりわからなくなったりしたら助言して下さい。
- テレビは消して、勉強している間は静かな環境を作ってあげて下さい。
- 毎日または曜日の決まった時間に学習に取り組む習慣をつけましょう。
- 問題をやったら、自分で丸つけをして答え合わせをお願いします。

家庭学習の手引き（ノートの手書き）

授業ノートとは別の「自主学習ノート」をつくりましょう
(ノートは5ミリ方眼で、使い方は各自で見やすいように工夫しましょう。1年生は先生の指示にしたがってノートを用意しましょう。)

ノートの使い方の例

日付を入れる

めあてをかきましょう

めあての書き方の例

- ・しりとりを10こいじょうつづける。
- ・100マス計算を3分以内でおえる。
- ・次のテストでまちがえないようになおしをする。
- ・平行や垂直な線がもっと正確にかけられるようにする。

1行目に線をひく

計算練習などは、必ず答え合わせをし、まちがえた問題はやり直しをしましょう。

例 ① 8 + 9 = 17

2
5 国 語

○ 読 書

「 木 竜 う る し 」 の

作 者 木 下 順 二 の 「 夕 鶴 」 を

読 み ま し た ○

ノートの書き方注意点

- めあてをかきましょう。
- ノートはていねいに、後でみてわかるようにかきましょう。
- マス目は、小さいマス目、いくつか合わせて大きいマス目にして、学年にあわせてつかいましょう。
(場合によっては漢字練習は、漢字練習帳にしましょう)
- 定規をてき切に使いましょう。
- 見やすいように、後で書き足しができるようにスペースを上手にとりましょう。

家庭学習の手引き（学校と家庭の連携）

「生活のようす、家庭学習の記録」

月のはじめに生活や学習の様子を記録し、今後にかしましょう

生活のようす・家庭学習の記録

年 組 番 名前

★毎月月初めに生活のようすや家庭学習のようすを記録し、自分の生活をふり返り、今後の生活や学習にかしましょう。

★お家の人と相談してめあてを決めましょう

決めた目標に照らし合わせ ◎:よくできた ○:できた △:もう少し を付けてみましょう

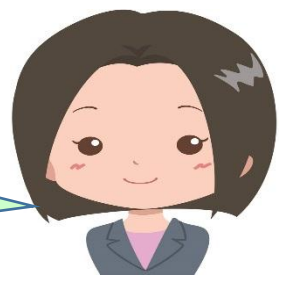
10月		生活のめあて				学習のめあて			10月のふりかえり	
		生活のようす				学習のようす		みました		
日	曜日	早寝早起き	朝ごはん	次の日の準備	ノーテレビノーゲーム	宿題	自主勉強の内容	家の人印	先生の印	
1	水									
2	木									
3	金									
4	土									
5	日									
6	月									
7	火									

お家の人
励ましの言葉で
やる気がアッフ!



家庭学習というと何をさせたらよいか考えてしまうし、仕事が忙しくてね。

そんなにむずかしく考えないで、お子さんと一緒に考えたらどうでしょう。また忙しいときはやったことをほめるだけでもよいと思います。



家庭学習は、子どもたちが自分の夢をかなえるために必要な学力を確かなものにする学びです。習慣化すると、よい生活習慣も身に付き、将来にわたって学びつづけることのできる人になるでしょう。

よい生活習慣を身に付けるのは、家庭での重要な役割ですよね。特に小学校生活というのは、いろいろな意味でこれから迎える中学校生活の基礎になっていくと思われるので、家庭も、子どもが力をつけられるように学校と連携していきたいと思います。

